

# 福島第一原子力発電所の状況

2015年12月18日  
東京電力株式会社

## < 1. 原子炉および原子炉格納容器の状況 > (12/18 11:00 時点)

号機	注水状況		原子炉压力容器 下部温度	原子炉格納容器 圧力	原子炉格納容器 水素濃度	
1号機	淡水 注入中	給水系：約2.6 m <sup>3</sup> /h	19.4 °C	0.87 kPa g	A系： 0.00 vol%	
		炉心スプレイ系：約1.9 m <sup>3</sup> /h			B系： 0.00 vol%	
2号機	淡水 注入中	給水系：約1.8 m <sup>3</sup> /h	24.2 °C	3.60 kPa g	A系： 0.06 vol%	
		炉心スプレイ系：約2.6 m <sup>3</sup> /h			B系： -※ vol%	
3号機	淡水 注入中	給水系：約2.0 m <sup>3</sup> /h	22.6 °C	0.26 kPa g	A系： 0.08 vol%	
		炉心スプレイ系：約2.3 m <sup>3</sup> /h			B系： 0.06 vol%	

※ 作業に伴いデータ欠測

## < 2. 使用済燃料プール(SFP)の状況 > (12/18 11:00 時点)

号機	冷却方法	冷却状況	SFP 水温度
1号機	循環冷却システム	運転中	16.2 °C
2号機	循環冷却システム	運転中	27.3 °C
3号機	循環冷却システム	運転中	22.7 °C
4号機	循環冷却システム	運転中	11.3 °C

※ 各号機 SFP および原子炉ウェルヘヒドラジンの注入を適宜実施。

## < 3. 水処理設備および貯蔵設備の状況 > (12/18 11:00 時点)

設備	セシウム 吸着装置	第二セシウム 吸着装置 (サリー)	淡水化装置 (逆浸透膜)	淡水化装置 (蒸発濃縮)	多核種 除去設備 (ALPS)	増設多核種 除去設備	高性能多 核種 除去設備
運転 状況	停止中*1	運転中*1	水バランスを みて断続運転	水バランスを みて断続運転	ホット 試験中*2	ホット 試験中*2	ホット 試験中*2

\*1 フィルタの洗浄、ベッセル交換を適宜実施。 \*2 高性能容器(HIC)交換等を適宜実施。

## < 4. その他 >

- 2014/6/2～ 陸側遮水壁工事を開始。  
2015/4/30 12:00～ ブライン(不凍液)循環設備の健全性や地下水の流れによる影響等の確認のため1～4号機建屋の山側(18箇所)を対象に試験凍結を開始。
- 2015/5/27～ 構内で今後使用しないフランジボルト締めタイプのRO濃縮水貯槽の解体作業を開始。
- 2015/12/18 11/25 11:38 頃、高性能多核種除去設備において、ろ過水による当該設備の洗浄を実施していたところ、高所にあるベント配管(空気抜き配管)より洗浄水が滴下していることを、協力企業作業員が発見。滴下した水は床面約1m×1mの範囲に飛散。漏えいは、当該設備建屋の堰内に収まっており、外部への流出はない。滴下した水については、11/25 12:10 頃に拭き取りを完了。その後、12/18 12:45、当該設備の処理運転を再開し、運転状態に異常のないことを確認。なお、水の滴下が発生した推定原因と対策は以下のとおり。

### 【推定原因】

ろ過水を用いた吸着塔の洗浄中、系統内に空気が滞留していたため、洗浄後のドレン水の流れが不安定となりベント配管(空気抜き配管)に瞬時的に逆流したことにより、水の滴下が発生したものと推定。

## 【対策】

系統内の不安定な空気の流れによるベント配管への逆流を防止するため、系統内の急激な流れを抑制するオリフィス(流量制限器)を設置するとともに、弁の急激な操作を禁止する旨を操作手順書に反映し、さらに現場に注意喚起表示を行う。同操作において水の滴下が発生しないことを確認。

2015/12/18 15:36 1号機使用済燃料プール代替冷却系について、補給水配管水張り漏えい確認のため冷却を停止。停止時の使用済燃料プールの温度は16.0℃で、停止時の温度上昇は最大で約0.4℃と評価されることから、運転上の制限値60℃に対し余裕があり、管理上の問題は無し。

## 【1号機原子炉建屋カバー解体作業】

1号機原子炉建屋カバー(以下、建屋カバー)解体工事に向けて準備工事を開始。

5/15 6:45～5/20 13:11 建屋カバー屋根パネルからの飛散防止剤の散布作業を実施。当該作業期間中において、ダストモニタおよびモニタリングポストの値に有意な変動なし。

7/17 7:06～7/21 9:10 建屋カバー屋根パネル貫通孔からの飛散防止剤の散布作業が終了。

7/28 建屋カバー屋根パネルの取り外し作業を開始。10/5 に全ての屋根パネルの取り外しが完了。

## 【サブドレン他水処理施設の状況】

・2015/9/3 サブドレン他水処理施設運用開始。

9/17～サブドレン他水処理施設による地下水のくみ上げについて、昼間のみの間欠運転から24時間連続運転に切り替え実施。

・2015/12/18 サブドレン他水処理施設一時貯水タンクFの当社および第三者機関による分析結果については同等の値であり、共に運用目標値を満足していたことから、12/19に海洋排水を実施予定。

## 【地下水バイパス揚水井の状況】

・地下水バイパス揚水井 No.1～12 のサンプリングを継続実施中。

## 【1～3号機放水路の状況】

※1～3号機放水路については、1号機放水路上流側立坑および2号機放水路立坑において、セシウム137の濃度が上昇したことから定期的に水質調査を実施。

＜最新のサンプリング実績＞

・前回採取した測定結果と比較して大きな変動は確認されていない。

## 【構内側溝に敷設されている耐圧ホースからの漏えいについて】

＜K排水路排水口のサンプリング実績＞

・前回採取した測定結果と比較して大きな変動は確認されていない。

## 【H4,H6エリアタンク周辺観測孔(周辺排水路含む)の状況、タンクパトロール結果関連】

＜H4エリア周辺のサンプリング実績＞

・前回採取した測定結果と比較して大きな変動は確認されていない。

＜H6エリア周辺のサンプリング実績＞

・前回採取した測定結果と比較して大きな変動は確認されていない。

＜福島第一構内排水路・南放水口のサンプリング実績＞

・前回採取した測定結果と比較して大きな変動は確認されていない。

## 【タービン建屋東側の地下水調査/対策工事の実施状況】

＜地下水観測孔・海水サンプリング実績＞

・前回採取した測定結果と比較して大きな変動は確認されていない。

## 【地下貯水槽からの漏えいに関する情報および作業実績】

＜地下貯水槽サンプリング実績＞

・前回採取した測定結果と比較して大きな変動は確認されていない。

以上